

「巨大地震対策シンポジウム」 シンポジウム開催報告

開催概要

東日本大震災から4年が経ちましたが、まちの復興スピードには大きなばらつきがみられ、その差は顕著なものとなりつつあります。その理由として、大規模高台造成工事による影響もさることながら、広域的な観点でのまちのあり方に対する合意形成のスピード等、従前からの「まちのレジリエンス（復元力）」によるところも大きいことが明らかとなってきました。

こうした背景を踏まえ、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社は、政策分析ネットワークとともに、2015年9月19日に、巨大地震対策をテーマとしたシンポジウム「首都直下地震・南海トラフ巨大地震にどう備えるか～東日本大震災の教訓にみる官民連携によるレジリエンス向上の可能性～」を開催しました。

本シンポジウムでは、首都直下地震および南海トラフ巨大地震への備えとして、「まちのレジリエンス（復元力）」をいかに高めるかに焦点を当て、東日本大震災の復興まちづくり事例や今後の災害に備える官民によるソフト・ハードの取り組み等を俯瞰しながら、行政×民間×シンクタンクの連携による新たなレジリエンス向上に向けた取り組みの可能性について議論しました。

【プログラム】

問題提起	まちのレジリエンス（復元力）とはなにか ～東日本大震災の事例から～ 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社防災・リスクマネジメント研究室 研究員 国友 美千留
基調講演	レジリエンスの再生に資する復興まちづくり ～気仙沼市小泉地区と沼津市内浦重須地区の取り組み～ 北海道大学大学院工学研究院建築都市空間デザイン部門教授 森 傑 氏
事例報告	東日本大震災におけるUR都市機構の復興支援の取り組み 独立行政法人都市再生機構震災復興支援室長 佐分 英治 氏 東京都の事前復興対策 東京都総務局総合防災部情報統括担当課長 小林 千佳子 氏 『逃げ出す街』から『逃げ込める街』へ 森ビル株式会社都市政策企画担当取締役常務執行役員 河野 雄一郎 氏
パネル ディスカッション	【パネリスト】 北海道大学大学院工学研究院建築都市空間デザイン部門教授 森 傑 氏 独立行政法人都市再生機構震災復興支援室長 佐分 英治 氏 東京都総務局総合防災部情報統括担当課長 小林 千佳子 氏 森ビル株式会社都市政策企画担当取締役常務執行役員 河野 雄一郎 氏 【コーディネーター】 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社防災・リスクマネジメント研究室 主任研究員 中井 浩司